

本メルマガ配信を行っております< emagazine@opack.jp >は、配信専用アドレスです。

★付きのイベントは、OPACKホームページ< <https://www.opack.jp/> >内の
「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、
そちらからもご覧いただけます。

○**INDEX**○

ー九大学研都市に関する団体・機関からお知らせー

★【1】3月6日・13日（毎週水曜日）開催
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）
「Brown Bag Seminar Series ～第134回・第135回～」

★【2】3月11日（月）開催
第4回福岡空のモビリティ講演会のお知らせ

★【3】3月15日（金）開催
福岡アジア都市研究所(URC) 令和5年度第5回ナレッジコミュニティ
『市民まちづくり研究員研究成果発表会』
「福岡の心地よい空間づくり～食や景観から生まれるにぎわいとやすらぎ～」

★【4】3月18日（月）・19日（火）開催
福岡県水素グリーン成長戦略会議
人材育成事業 専門コースを開催します！

★【5】3月20日（水・祝）開催
九州大学人社系協働研究・教育コモンズ、人社系学際融合プログラム共同企画
「歴史総合」時代のロシア史

★【6】3月21日（木）開催
九州大学看護共創・実装研究拠点 キックオフシンポジウム開催

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)
1 ～Brown Bag Seminar Series～
第134回『フォトン・アップコンバージョン分子システムのデザイン～分子の
自己組織化を光エネルギー変換に活かす』
第135回『救貧と信仰の守護者：知られざる領土なき独立国、マルタ騎士団
1000年の献身』

～Brown Bag Seminar Series（3月分）の御案内～

◆概要◆

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）では「Brown Bag Seminar Series」を2021年4月から毎週水曜日のランチタイムに開催しております。本学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽にご参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆さまのご参加をお待ちしております。

<各回共通>

◆形式◆ オンライン（Zoom Webinar）

◆言語◆ 日本語・英語（同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応）

◆定員◆ 500名

◆対象者◆ どなたでも参加可能

◆参加費◆ 無料

◆詳細◆ 下記URLをご覧ください

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

◆問い合わせ◆ 九州大学IQ支援室

TEL：092-802-2604 / E-mail：iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

【第134回】

◆タイトル◆ 『フォトン・アップコンバージョン分子システムのデザイン～分子の自己組織化を光エネルギー変換に活かす』

（キーワード／自己組織化、分子膜、ゲル、光化学、フォトン・アップコンバージョン、三重項、励起エネルギー移動）

◆日時◆ 3月6日（水）12時10分～12時50分

◆登壇者◆ 君塚 信夫 教授（工学研究院 応用化学部門）

◆参加申込◆ 下記URLよりお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_1jbvN4sYQcihvo8PqtPjDQ

【第135回】

◆タイトル◆ 『救貧と信仰の守護者：知られざる領土なき独立国、マルタ騎士団1000年の献身』

（キーワード／騎士道、持続可能性、病者と貧者）

◆日時◆ 3月13日（水）12時10分～12時50分

◆登壇者◆ 武田 秀太郎 准教授（都市研究センター）

◆参加申込◆ 下記URLよりお申し込みください。

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_2vlaRwS5RhGo5zvPKenuYQ

・セミナー チラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32307_file.pdf

2	第4回福岡空のモビリティ講演会のお知らせ
---	----------------------

◆概要◆

2025年に開催される大阪・関西EXPOでは、空飛ぶクルマ（空クル）で大阪や神戸などの近郊を結ぶ計画が発表され大きな注目を集めています。近未来に実現が期待されている空飛ぶクルマ（空クル）による物流・人流について、私たちが何を考え、どのようなビジョンを持ち、何に備えるべきかを産学官で検討する必要があります。九州の交通・経済の要である福岡市が九州圏の発展の源となるために、機体開発の専門家の方々にその最前線についてお話いただき第4回講演会「空のモビリティの最新情報」を3/11にアクロス円形ホールで開催いたします。企業や県・自治体の方々のご参加をお待ちしております。

◆日時◆ 2024年3月11日（月）15:00～18:00

◆場所◆ アクロス円形ホール

◆内容◆ 空飛ぶクルマ・ドローン開発の背景、課題、今後の研究開発の方向性などに

ついて業界の専門家からお話しいただき、それらの社会受容に必要な要素を検討します。

◆対象者◆ 企業や県・自治体の方々

◆定員◆ 80名

◆参加費◆ 無料

◆申込期限◆ 3月8日（金）

◆申込方法◆ <https://forms.gle/S25QKZD4QtTMsbtb6>

◆問い合わせ◆ 福岡空のモビリティシンポジウム事務局
E-mail : sorakuruelsi@gmail.com

・空モビ4 チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32308_file.pdf

福岡アジア都市研究所(URC) 令和5年度第5回ナレッジコミュニティ
3 『市民まちづくり研究員研究成果発表会』
「福岡の心地よい空間づくり～食や景観から生まれるにぎわいとやすらぎ～」

◆概要◆

福岡アジア都市研究所（URC）は、市民の皆様により自主的な立場での研究を通して、まちづくりへの認識を深め、交流の輪を広げるにより、まちづくりのリーダーとなっていただくことを目的として「市民まちづくり研究員受入事業」を実施しています。令和5年度の市民まちづくり研究員は「福岡の心地よい空間づくり～食や景観から生まれるにぎわいとやすらぎ～」をテーマに、調査・研究を進めてきました。今回のナレッジコミュニティでは、市民まちづくり研究員が7月から続けてきた研究活動の成果を発表します。皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

◆日時◆ 2024年3月15日（金）18：30～20：00 (18:00開場)

◆場所◆ アクロス福岡 608会議室（福岡市中央区天神1-1-1）

◆内容◆ 『市民まちづくり研究員研究成果発表会』

共通テーマ「福岡の心地よい空間づくり～食や景観から生まれるにぎわいとやすらぎ～」

【プログラム】

18:30 URC常務理事挨拶

18:35 発表

19:50 意見交換

20:00 終了

◆定員◆ 30名 ※先着順受付

◆参加費◆ 無料

◆申込期限◆ 3月14日（木）必着

◆申込方法◆ 下のURL、またはチラシ掲載のQRコードから参加申し込みをお願いいたします。

<https://urc.or.jp/r5kcom>

EメールまたはFAX(下記申込用紙)でのお申込みの方は、

①氏名・②所属・③電話番号・④Eメールアドレスをご記入のうえ、

下記連絡先までご提出をお願いいたします。

（メール件名: 第4回URC ナレッジコミュニティ参加希望）

Mail : k-com@urc.or.jp Fax : 092-710-6433

◆問い合わせ◆ 公益財団法人 福岡アジア都市研究所

Mail : k-com@urc.or.jp Tel : 092-710-6441

URL : <https://urc.or.jp/>

<主催> 公益財団法人福岡アジア都市研究所

<共催> 福岡市、九州大学大学院人間環境学研究院 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ

・第5回ナレッジコミュニティ チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32309_file.pdf

4	福岡県水素グリーン成長戦略会議 人材育成事業 専門コースを開催します！
---	--

◆概要◆

福岡県水素グリーン成長戦略会議では、水素・燃料電池関連分野への参入を目指す企業の技術者向けに、令和5年度人材育成セミナー「水素専門コース」を開催します。

◆日時◆ 令和6年3月18日（月） 10：15～17：20
3月19日（火） 11：00～15：30

◆場所◆ 1日目：九州大学次世代燃料電池産学連携センター（福岡市西区元岡744）
2日目：（公財）水素エネルギー製品研究試験センター（糸島市富915-1）

◆内容◆ 別紙チラシのとおり

◆対象者◆ 水素・燃料電池分野への参入を目指して製品開発に取り組んでおり、技術的な課題の解決を図ろうとする企業の技術者

◆定員◆ 30名（予定）現地開催のみ

※カリキュラムの都合上、オンライン配信はございません。

※申し込み多数の場合は、事務局にて調整させていただく場合がございます。

◆参加費◆ 県内企業 3,000円
県外企業 5,000円

◆申込期限◆ 3月13日（水）

◆申込方法◆ 福岡県水素グリーン成長戦略会議ホームページ
（<https://f-suiso.jp/event/event-2979/>）にて募集

◆問い合わせ先◆ 公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団内
福岡半導体リスクリングセンター(担当：高倉)
TEL：092-822-1550／E-mail：reskilling_contact@ist.or.jp

・R5人材育成セミナー水素専門コース チラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32310_file.pdf

5	九州大学人社系協働研究・教育コモンズ、人社系学際融合プログラム共同企画 「歴史総合」時代のロシア史
---	--

◆概要◆

この2年間、人社系学際融合プログラムの一環として九州大学を基盤とするロシア研究が行われてきました。当プログラムの締めくくりとして、人社系協働研究・教育コモンズとともに、ロシア史を中心とした歴史教育を考える企画を立てました。

第一部は、ランチタイム・セッションとして、近現代を中心として、九州という地域とロシアとのつながりを再検討する研究成果を紹介する時間を設けました。明治期以降の九州において、ロシアの文学や宗教がどのように受容されたのか、具体的な事例について検討する予定です。

つづく第二部と第三部では、高等学校以上の歴史教育との関係を扱います。高校では2022年度の1年生より新課程に基づいた授業が行われるようになり、2025年度には、その生徒たちが入学してくることになります。中でも歴史教育は、日本史と世界史を融合した「歴史総合」という新科目が設立されたこともあり、現在その方向性をめぐって活発な議論がなされています。そこで歴史研究や教育の第一線で活躍されている先生方をお招きし、ともすれば「特殊な地域」と見なされがちなロシア史の教え方や、歴史総合の課題について、議論する予定です。

歴史教育や高大接続に関心をお持ちの方の、幅広いご参加をお待ちしております。

◆日時◆ 3月20日（水・祝）12：00～17：50

◆場所◆ 九州大学伊都キャンパス イースト1号館E-B-112（対面のみ）

◆内容◆ 「歴史総合」時代のロシア史

第1部（12:00-13:00）ランチタイム・セッション：九州から再検討するロシア

アー「私たち」とロシアを結ぶ

報告者：松枝 佳奈（九州大学 比較社会文化研究院）

高橋沙奈美（九州大学 人間環境学研究院）

第2部（13:30-15:30）ロシア史教育の日露比較

報告者：田中 良英（宮城教育大学）

立石 洋子（同志社大学）

第3部（15:50-17:50）隣国の歴史と私たち

報告者：穂積 暁（大学入試センター）

北村 厚（神戸学院大学）

◆対象者◆ 一般・学生

「歴史総合」に関心のある教員や教員志望の学生の参加をお待ちしております。

◆定員◆ 約120名

◆参加費◆ 無料

（注1）学外からお車でお越しの方は、入構料300円が必要となります。入口で必要事項を記入の上、お支払いをお願いいたします。

（注2）ランチタイム・セッションは、昼食をお召し上がりになりながらの聴講が可能です。主催側では昼食の提供をいたしませんので、各自ご持参いただきますようお願いいたします。

◆申込期限◆ 2024年3月18日（月）

◆申込方法◆ 事前申し込み

※下記URLへアクセスのうえ、事前参加申込をお願いします。

<https://forms.office.com/r/ENejARU6S7>

◆問い合わせ先◆ 九州大学人系協働研究・教育コモンズ

H P： <http://commons.kyushu-u.ac.jp/>

E-mail： enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野と九州大学病院看護部が連携し、その他外部機関や異分野との融合研究の実施によりイノベティブ看護の開発と社会実装を戦略的に推進することを目的として、九州大学看護共創・実装研究拠点を設置いたしました。拠点設置に際し「九州大学発 看護ケアサイエンスの実装推進を目指して」と題して、キックオフシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時◆ 2024年3月21日 (木) 13:30～16:00

◆場所◆ 百年講堂 中ホール(ハイブリッド) 福岡市東区馬出3-1-1
URL : <https://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/access/>

◆内容◆

司会：鳩野 洋子（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

1. 開会の挨拶

藪内 英剛（保健学部門長/副医学研究院長）

2. 臨床と学部との連携から九州大学看護共創・実装研究拠点への期待

濱田 正美（九州大学病院副病院長・看護部長・看護キャリアセンター長）

3. 研究拠点の紹介

橋口 暢子（保健学部門 看護学分野分野長・看護キャリア副センター長）

4. シンポジウム

座長：後藤 健一（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

◆クリニカル看護ケア開発ユニット 藤田 君支（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

◆母子・家族健康支援開発ユニット 疋田 直子（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

◆コミュニティ健康支援開発ユニット 寺岡 佐和（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

◆看護マネジメント開発ユニット 橋口 暢子（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

5. 合同討議・質疑

6. 閉会の挨拶

諸隈 誠一（医学研究院 保健学部門 看護学分野 教授）

◆対象者◆ 大学教員、看護師、その他の医療従事者
看護の研究についてご興味ある企業、自治体の方など

◆定員◆ 現地：100名 オンライン参加：200名

◆参加費◆ 無料

◆申込期限◆ 2024年3月15日（金）

◆申込方法◆ 参加希望の方は、チラシ記載のQRコードもしくは、下記URLよりご登録ください。
参加申込URL: <http://forms.gle/vEUNVinB818mou6R8>

◆問い合わせ◆ 研究拠点準備室 藤田研究室

TEL：092-642-6738

Mail：fujita.kimie.874@m.kyushu-u.ac.jp

・キックオフシンポジウム チラシ： https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_32312_file.pdf

----- 事務局からのお願い & お知らせ -----

◆九大学研都市メールマガジン会員募集中◆

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。
産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

◆詳細◆

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

◆新規のご登録はこちらから◆

<https://www.opack.jp/users/add>

◆設定変更等◆

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。
メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。

info@opack.jp
